



地域連携室便り

愛媛県立中央病院
地域医療連携室

No.38 (2023年7月)

直通TEL 089-987-6270 (前方連携)
089-947-1165 (後方連携)
FAX 089-987-6271

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度 地域連携室便り No. 38 7月 を刊行いたしました。気軽に読んでいただけるようにと
考えておりますが、皆様方からのご意見をいただければ幸いです。聞きたいこと・知りたいこと等、ぜひ
お知らせください。この機会にぜひメール登録をよろしくお願いたします。

今回の内容

- ① 皆様、よろしくお願いたします 近藤由香
- ② 新副院長ご挨拶 二宮朋之
- ③ 診療科紹介 (整形外科) 森実圭
- ④ 第127回医療連携懇話会を終えて(前半) 井上武
- ⑤ 医療安全コラム 森山昭子
- ⑥ 地域医療連携室からのお知らせ～登録お申し込み方法について～

皆様、よろしくお願いたします

地域医療連携室 看護師 近藤 由香

今年3月で定年退職を迎え再任用で4月から地域医療連携室勤務になりました、近藤由香と申します。
病棟勤務も経験しましたが、退職前の数年は観察室での勤務だったので緊急入院などの患者に
かかわることが多く、患者の生活に目を向ける事も少なく地域につなげるということはほとんど
なかったように思います。

今年からは患者、家族の思いに寄り添いながら患者、家族が望む場で
その人らしく過ごせて行けるようにお手伝いさせていただくこと
になりました。しかし恥ずかしながら知らないことも多く、学ばなければ
ならないことばかりです。皆さまにいろいろお聞きするとは思いますが
がんばっていきますのでよろしくお願いたします。



② 新副院長ご挨拶

副院長 地域医療連携室長 二宮 朋之



皆様こんにちは。本年4月に副院長を拝命しました二宮朋之です。昨年4月の連携室長挨拶すでにご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、あらためて一言ご挨拶申し上げます。

平素は、当院の運営にご理解とご協力を賜り感謝いたします。

私は西予市出身で宇和島東高校から愛媛大学に進み1990年に卒業しました。愛媛大学医学部附属病院で1年間研修後1991年に市立宇和島病院に赴任、5年間の研修後、1996年4月に愛媛大学大学院に入学しました。自己免疫性胃炎の研究で2000年3月に無事博士号を取得、同年4月愛媛大学医学部附属病院の医員、光学医療診療部助手を経て2002年6月に愛媛県立中央病院に赴任し内科医長、内視鏡室長として消化器疾患、特に消化管疾患の診断、治療を担当しております。2017年4月に消化器病センター長に任命され、同時に地域医療連携室副室長を拝命しました。消化器内科の責任者として当院の使命である高度急性期医療に注力し救急疾患の当日紹介を積極的に受け入れて参りました。他方、地域がん診療拠点病院としてがん医療にも積極的に携わり、地域の先生方から多くの患者様をご紹介いただいております。誠にありがとうございます。

さて、今年度地域医療連携室の目標に地域医療連携ネットワークシステム【媛さくらネット】の登録医療機関数増加を掲げています。2021年11月に運用が開始された媛さくらネットですが6月26日現在、登録医療機関数が20件、登録患者数（医療機関からインターネット経由で患者のカルテを見ることができる）は126人です。昨年から約1年間で9医療機関、103人増加していますがまだまだ周知・案内が足りないと感じております。また、医療機関として登録はしているものの患者登録をしている医療機関は11件にとどまります。患者登録をいただきますと紹介していただいた当日に血液検査や放射線画像レポート等がリアルタイムで確認できます。患者様が先生の病院を受診する前に結果を知ることが可能です。カルテ記事の参照はまだできませんが退院時サマリは閲覧できるようになりました。

もうひとつお願いがあります。昨今世間を賑せている医師の働き方改革の問題です。当院も昨年働き方改革本部が立ち上がりました。少しずつ超過勤務時間を減らし職場環境の改善を目指して対応が始まっています。地域医療連携室としては逆紹介を推進し再診患者様を減らすことがこの改革に寄与することと考えています。地域の先生方にはご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願い申し上げます。

これまで多くの症例をご紹介いただき、心より御礼申し上げます。引き続き、地域の先生方と顔の見える関係作り、切れ目のない受入体制を強化し円滑な連携を構築できるように努めて参ります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

③ 上肢手の外科について（整形外科）

整形外科 部長 森実 圭

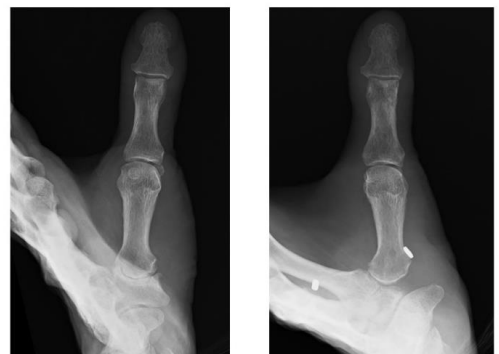
整形外科の紹介をします。現在常勤医8名（整形外科専門医7名、専攻医1名）と非常勤医1名で診療を行っています。筋骨格を扱う整形外科において、より専門性を高めてレベルの高い診療を行うべく、下肢関節外科（日本人工関節学会認定医1名）、脊椎外科（日本脊椎脊髄病学会指導医2名）、上肢手の外科（日本手外科学会専門医1名）に専門医をおいております。中予のみならず東予・南予の医療機関より症例のご紹介をいただき、整形外科全体でおおよそ1,200件/年程度の手術件数で推移しております。

今回、その中でも筆者が担当している手の外科について紹介させていただきます。

筆者が2020年4月に赴任し、当院は日本手外科研修施設として認定され、現在手外科専門医志望の専攻医とともに診療を行っています。

手は人間の組織の中で、物をつまむ、把持する、あるいは道具を使用して作業を行うといった運動器としての一面、また物を触ってそれが何かを認識する、また熱い、冷たい、痛いといった状態を感じとり身を守るといった感覚器としての一面、場合によっては整容面を重要視されることもあり、様々な側面・機能を有しております。指1本ケガしたことで日常生活で当たり前に行っている動作がままならなくなることも少なくなく、ADLを保つためによりよい治療を行うことが求められます。「手」とするといわゆる手首より先を頭に描きますが、それだけではなく、手関節・肘関節も守備範囲に相当します。

また手は整形外科で一般に扱うイメージのある骨のみならず、指を動かす腱、感覚をつかさどる神経、組織を栄養する血管、これらを覆い保護している皮膚などを扱う技術が要求されます。さらに診断、手術とあわせてその後のリハビリテーションについても他の整形外科で扱う部位と同様に重要であり、治療の50%を占めるとも言われております。より慎重な観察が必要とされる腱の手術、複雑な外傷・骨折後のリハビリテーションについては当院の作業療法士に訓練を行ってもらいつつ、その進め方を協議しております。日常よく遭遇する腱鞘炎、手根管症候群から、母指CM関節症、尺骨突き上げ症候群、手指（DIP, PIP関節）変形性関節症、遠位橈尺関節変形性関節症・それにともなう腱断裂といった変性疾患に対しても対応しております。また指の骨折、橈骨遠位端骨折、肘関節周囲の骨折・脱臼・靭帯損傷、屈筋腱・伸筋腱断裂、神経断裂といった外傷も極力早期に対応させていただくようにしております。



母指CM関節症に対する関節形成術（大菱形骨切除+supination arthroplasty）

また、当院は三次救急病院であり、重度の四肢外傷の方が搬送されることも当然ながらあります。手に限らず、重度の四肢開放骨折で創部を閉鎖できない皮膚欠損をとまなう場合が少なくなく、その際に骨が露出する部分は植皮ではなく、皮弁での被覆が必要です。広背筋、前外側大腿皮弁といった遊離皮弁を行う際に顕微鏡下での血管縫合の技術が必要です。そのような状況は我々手外科医の技術を生かすことができる場面となります。「上肢」「下肢」といった組織を骨、血管、軟部組織といった組織ごとに治療するのではなく、単一の組織として同一の科・術者で治療を完遂するということを念頭において治療にあたっています。こちらに関しても現在は”as soon as possible”に皮膚を閉鎖するという概念が一般的となっており、各部署の協力を得てそれを可能とするよう鋭意努力しております。

雑多になりましたが、現在整形外科で行っている上肢・手外科・重度四肢外傷の診療について紹介させていただきました。愛媛県の整形外科診療のレベルアップのため引き続き研鑽を積んでいく所存です。今後ともよろしく願いいたします。



高度関節面粉砕した上腕骨遠位端骨折に対する人工肘関節置換術



尺骨突き上げ症候群に対する尺骨短縮骨切り術

④ 第127回医療連携懇話会を終えて(前半)

画像センター長/地域医療連携室 副室長 井上 武

「県立中央病院をまるごと ご紹介します」をテーマに第127回医療連携懇話会を6月14日(水) 19時からANAクラウンプラザホテル松山にて開催いたしました。ご多忙の中、院外参加81名の方にご参加賜り、院内参加者62名と合わせて計143名の賑やかな懇話会となりました。院外参加者は52名の医師と薬剤師、看護師、ソーシャルワーカーなど29名の医療関係者でした。

昨年はCOVID-19の感染状況を鑑みて、当院の講堂で音声付スライド、ビデオ上映というやや簡素な形態で行いましたが、今回はCOVID-19の感染症法上の取扱いが5類に変更された事も合わせて、久しぶりのフルバージョンで行われました。愛媛県の数多くの医療関係者がホテルの会場で一堂に会している絵はこの数年見られなかったこともあり、ようやくコロナ禍も終焉に近づいてきたという思いにほっと一息。それとともにこれからの診療に身が引き締まる思いを味わいました。

愛媛県公営企業局管理者の挨拶に引きつづいて、県立中央病院29診療科の主任部長が前もって作成したスライドを用いて診療科紹介を行いました。診療科も多く、1診療科2分半と短めの持ち時間でしたが、コンパクトに練りこんで作った内容のスライドで、各診療科の診療内容、特徴、アピールポイントがまとめられており、患者様をご紹介いただく際の参考になるかと考えます。一部動画もあり楽しんでいただけたのではないかと思います。

各科の診療科紹介の後、全員が隣の会場に移動して、意見交換会が開かれました。立食形式での意見交換会でお互いの顔を合わせ、アルコールも入り、しばらく会えなかった皆様と積もる話に時間を忘れるような楽しい会合になりました。

これまで多くの患者様をご紹介いただき、皆様のおかげでわが愛媛県立中央病院は多くの患者様の診療にあたることができしております。重ねて御礼申し上げます。これからも引き続き当院をよろしく願い申し上げます。

今回開催されました各診療科のスライドを、7月(前半)・8月(後半)に分けてご紹介したいと思います。今後ご紹介の参考になればと考えております。

| 7月号掲載診療科 | | | |
|----------|-------|----|-----------|
| 1 | 救急科 | 9 | 糖尿病・内分泌内科 |
| 2 | 麻酔科 | 10 | 消化器内科 |
| 3 | 産婦人科 | 11 | 消化器外科 |
| 4 | 新生児内科 | 12 | 呼吸器内科 |
| 5 | 小児科 | 13 | 感染症内科 |
| 6 | 小児外科 | 14 | 呼吸器外科 |
| 7 | 腎臓内科 | 15 | 血液内科 |
| 8 | 泌尿器科 | | |

県立中央病院 29診療科のご紹介 (前半)

救急科

救命救急センター 救急科



- 救急科医師13名
(救急科専門医9名、集中治療専門医4名、専攻医2名)
- 救命救急センター 初期診療 (三次初療室)
- 重症入院患者診療 (救命ICU・救命HCU)
- 病院前救急
愛媛県ドクターヘリ基地病院
ドクターカー
医師同乗救急 (松山消防ワークステーション)
- 災害医療 (福井災害拠点病院、原子力災害医療拠点病院)

(後列) 三、佐藤、馬越、田中、橋、塩岡、清見
(前列) 越前、齊藤、白野、二宮、竹内、中城、中村

麻酔科

スタッフ紹介

常勤 15 名

藤谷 太郎 (副院長)
中西 和雄 (主任)
奥田 康之 (ICU・センター長)
矢野 雅起 (集中治療)
入澤 友美 (区域麻酔)
武田 泰子 (ペイン)
程野 茂樹 (災害医療)
菊池幸太郎 (心臓麻酔)
上松 敬吾 (集中治療)
高柳 友貴 (心臓麻酔)
佐々木 知恵
橋本 由莉恵
相原 昌法 (専攻医)
池田 彩夏 (専攻医)
中西 智紀 (専攻医)

非常勤 8 名

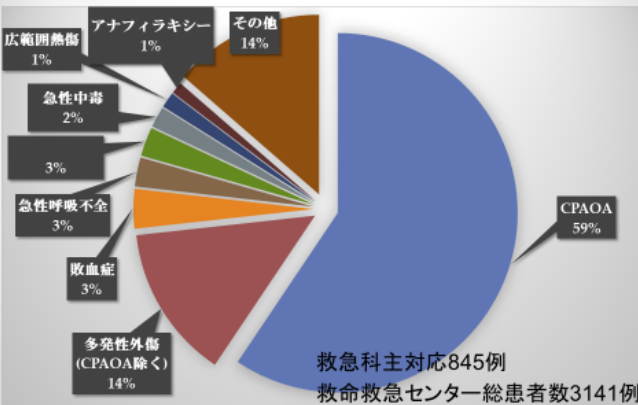
高石 和
土手 健太郎
原田 雅光
品川 育代 (小児麻酔)
原田 知美
清水 智恵子
鍋田 多恵子
越智 貴紀

常勤医の専門医資格

日本専門医機構 麻酔科専門医 10名
日本麻酔科学会 指導医 8名
日本麻酔科学会 専門医 2名
日本心臓血管麻酔専門医 1名
集中治療専門医 2名
区域麻酔指導医 2名
ペインクリニック専門医 1名



救急科が主に担当した疾患 (2022年)

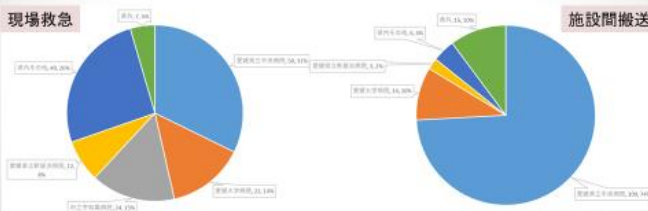


当院の麻酔科診療

- 安全な麻酔管理を目指して
→ 術前外来での麻酔前診察や入院サポートセンターと連携した術前リスク管理
- 術後経過の改善や早期離床のために
→ 神経ブロックなどによる多角的鎮痛法を用いた痛みの緩和
→ ICUからの早期回復プログラム
- 重症例の予後改善を図る
→ 院内で治療中に重症化した症例の集中治療
- 難治性の痛みを緩和したい
→ 院内紹介患者を対象に、癌性や良性の難治性の痛みの治療

2022年 愛媛県ドクターヘリ

要請件数 374 件
出動件数 315 件



愛媛県立中央病院高度救命救急センター 救急科

2022年度 の 診療実績

【麻酔】

件数: 4907 例
緊急: 1166 例 (約24%)

【ICU】

のべ入室症例数: 2685 人

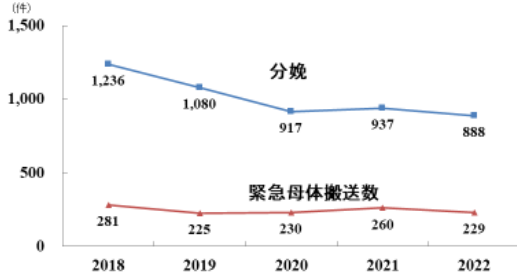
【ペインクリニック内科外来】

のべ受診者数: 2011 人

産婦人科

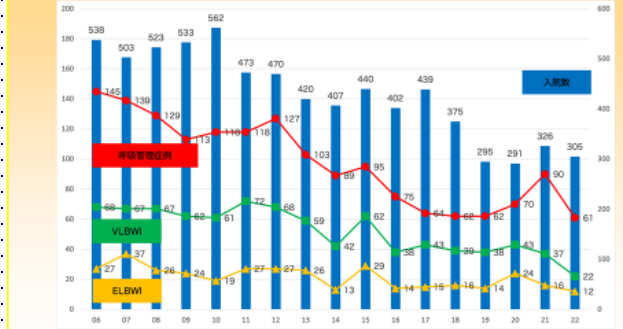
産科部門の紹介

昨今、分娩数の減少が目立っていますが、県内唯一の総合周産期母子医療センターの産科部門として、24時間、365日、緊急搬送に対応しています。夜間休日の超緊急帝王切開においても、新生児内科・麻酔科などとの緊密な連携のもと、15分以内に児を娩出できる体制を整えています。



新生児内科

新生児内科の紹介



婦人科部門の紹介

2022年主な婦人科手術件数

| 手術名 | 症例数 |
|--------|-----|
| 下手 | 178 |
| 子 下手 | 28 |
| 子 腹 | 39 |
| 手 | 13 |
| 子宮鏡手術 | 10 |
| Ⅲ | 222 |
| Ⅳ | 143 |
| 円錐切除術 | 9 |
| ロボット手術 | 1 |

婦人科良性腫瘍においては、その多くを腹腔鏡下手術や子宮鏡下手術で行っており、手術を受ける患者さんの負担の軽減、入院期間の短縮をはかっています。悪性腫瘍に関しては、外来化学療法を積極的に取り入れ、患者のQOLに留意した治療を行っています。

ロボット手術始めました



2022年入院児カテゴリー

5年以上の予後推移

5年以上の予後推移

常勤医：わずか5名で24時間・365日体制でNICU/GCUを運営しております
医師も随時募集中です

産婦人科スタッフ



小児科

小児内科の紹介

- 松山市（愛媛県）における小児医療の拠点として、初期治療から高度な集中治療まで幅広い医療を提供します。
- 小児科各領域の専門医（循環器、神経、血液・腫瘍、免疫、アレルギー、内分泌・代謝）による専門性の高い最先端の医療を提供します。
- 小児救急医療は、松山赤十字病院・松山市民病院と連携して輪番で二次搬送を受け入れを行い、三次救急の重症患者は24時間365日いつでも受け入れる体制を整えています。

小児外科

新生児の手術症例（2022年）

腹壁破裂（腸閉鎖）合併・多段階手術の1例

| 新生児手術 | 症例数 |
|----------------|-----|
| 先天性食道閉鎖症根治術 | 1 |
| 先天性横膈膜ヘルニア根治術 | 1 |
| 腸壁破裂・多段階手術 | 1 |
| 先天性十二指腸閉鎖症根治術 | 1 |
| 小腸癒着造設術 | 2 |
| 小腸癒着摘除術 | 1 |
| 腸回転異常症根治術 | 1 |
| 人工肛門造設術 | 2 |
| イレウス解除術 | 1 |
| 直腸肛門奇形根治術（全腸式） | 1 |
| 計 | 12 |

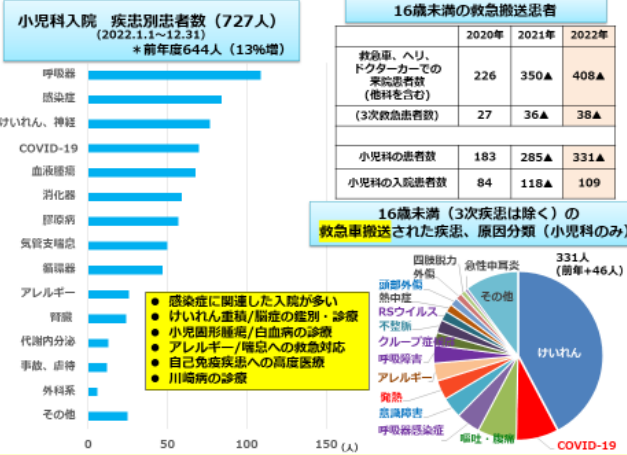
出生時



バックに収容
チューブ腸瘻

腹腔内に還納

実績



鏡視下手術症例（2022年）

| 鏡視下手術 | 症例数 |
|---------------------|-----|
| 腹腔鏡下腹腔ヘルニア陰囊小腫手術 | 35 |
| 腹腔鏡下虫垂切除術 | 13 |
| 腹腔鏡補助下ヒルシュスプルング病根治術 | 1 |
| 腹腔鏡補助下胃腸造設術 | 1 |
| 腹腔鏡補助下イレウス解除術 | 1 |
| 腹腔鏡補助下尿管留置術 | 1 |
| 腹腔鏡補助下尿管留置術 | 1 |
| 腹腔鏡補助下精巣固定術 | 1 |
| 腹腔鏡下肝生検 | 2 |
| 計 | 75 |

その他の手術症例（2022年）

| その他の手術 | 症例数 |
|-------------------|-----|
| 腸ヘルニア根治術 | 1 |
| メックル憩室摘出術 | 1 |
| 胃腸造設術(PEG) | 1 |
| 幽門閉鎖術 | 1 |
| 先天性十二指腸狭窄症根治術 | 2 |
| 腸回転異常症根治術 | 2 |
| 腸重積脱血的治療術 | 2 |
| 人工肛門造設術 | 1 |
| 直腸肛門奇形根治術(全腸式) | 1 |
| イレウス解除術(胃腸) | 2 |
| 腸造設術 | 2 |
| 先天性胆道拡張症根治術 | 1 |
| 内臓腫瘍摘出術 | 1 |
| 精巣固定術 | 2 |
| 悪性リンパ腫摘出術 | 2 |
| 長期留置型中心静脈カテーテル挿入術 | 2 |
| 良性腫瘍摘出術 | 1 |
| その他 | 2 |
| 計 | 27 |

小児科スタッフ



スタッフ紹介



野口

宮崎

近藤

野口 伸一 (主任部長 昭和63年卒)
近藤 剛 (部長 平成12年卒)
宮崎 航 (医長 平成27年卒)

| 月 | 次 | 水 | 木 | 金 |
|------|-----|----|----|----|
| 外来新患 | 手前日 | 宮崎 | 近藤 | 野口 |
| 外来再来 | | 近藤 | 野口 | 宮崎 |

腎臓内科

腎臓内科

診療目標： 末期腎不全への進行抑制
腎臓病患者のQOL・予後改善

対象疾患： 検尿異常
電解質異常
腎炎・ネフローゼ症候群・腎血管炎
高血圧、糖尿病性腎症
慢性腎臓病
急性腎障害
常染色体優性多発性のう胞腎
末期腎不全

泌尿器科

外来

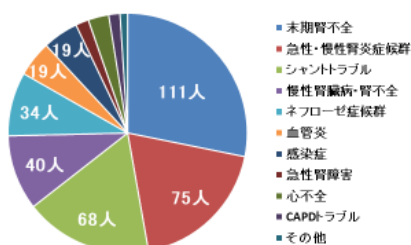
- ✓ 月～金まで泌尿器科2診体制、火・金に腎移植外来をしています。
- ✓ 紹介医や開業医様のご協力をいただき、スムーズな病診連携、外来待ち時間短縮に努めています。

入院

- ✓ 月・水・木・金に手術を施行しています。
- ✓ 泌尿器がんの抗がん剤治療、尿路感染症治療なども行っています。

腎臓内科

2022年入院患者数 394人

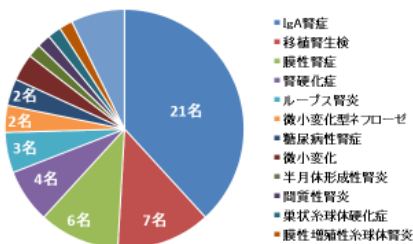


手術統計(2022年)

| 手術名 | 症例(例) |
|--------------------------|-------|
| 1 経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TUR-BT) | 204 |
| 2 内シャント造設術 (AVF) | 141 |
| 3 ロボット支援前立腺全摘除術 (RARP) | 113 |
| 4 経尿道的前立腺レーザー核出術 (HoLEP) | 43 |
| 5 透析用長期留置型カテーテル挿入術 | 38 |
| 6 経尿道的尿路結石砕石術 (TUL) | 35 |
| 7 ロボット支援腎部分切除術 (RAPN) | 27 |
| 8 腹腔鏡下腎摘除術 (LRN) | 21 |
| 9 腹腔鏡下尿管全摘除術 (LNU) | 15 |
| 9 ロボット支援膀胱全摘除術 (RARC) | 15 |
| 11 生体腎移植 (LKT) | 14 |
| 11 ドナー腎摘除術 (LDN) | 14 |
| 計 | 857 |

腎臓内科

2022年腎生検施行数 55人



腎生検適応：
持続する血尿、顕性蛋白尿、ネフローゼ症候群、
急性腎障害、移植腎etc

泌尿器科メンバー



どうぞよろしくお願いいたします。

糖尿病・内分泌内科

糖尿病・内分泌内科

A. スタッフ構成

1. 主任部長: 戎井 理 1988年愛媛大学医学部卒業
2. 部長: 大野敬三 1991年自治医科大学卒業
3. 部長: 宮内省蔵 1993年愛媛大学医学部卒業
4. 部長: 明坂和幸 1999年愛媛大学医学部卒業
5. 医師: 渡部杏子 2004年愛媛大学医学部卒業

B. 外来診察体制

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1診察室 | 戎井 | 大野 | 渡部 | 戎井 | 大野 |
| 2診察室 | 明坂 | 宮内 | 明坂 | 宮内 | 渡部 |

C. 甲状腺エコー

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 午前 | | | | ○ | |
| 午後 | ○ | ○ | ○ | | ○ |

D. 甲状腺エコー下針細胞診

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 午前 | | | | | |
| 午後 | | | ○ | ○ | |

消化器内科

愛媛県立中央病院 消化器内科

2023年度目標

•医療レベルのさらなる向上

医療レベルをさらに向上させ、愛媛県内のみならず、全国的にもトップレベルの診療ができるように診療のレベルアップを目指します。

•医療安全の推進

リスクを伴う処置、治療が多いため、各人の医療安全意識の向上に努めるとともに、医療事故の発生確率を低下させるシステムづくりを医療スタッフと共に推進します。

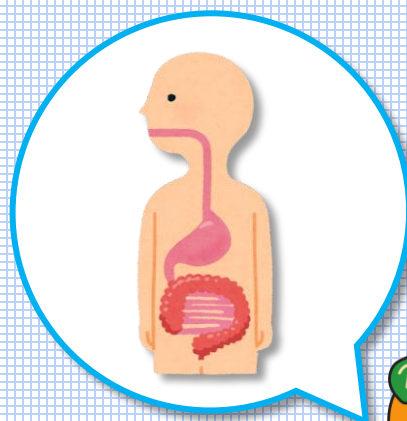
•医学的エビデンスへの貢献

当院の診療経験で得られた知見をガイドライン作成に貢献できるような学術論文として継続して報告していくことで、自らの医療レベルの継続的振り返りを心がけて、日常診療へフィードバックを行います。

当科の役割

- 1.体系的な糖尿病教育
- 2.糖尿病患者さんの病態に応じた治療方針の決定
- 3.食事療法、運動療法の指導
- 4.インスリンや血糖自己測定の手技指導
- 5.細小血管障害、大血管障害に関する定期的な精査
- 6.内分泌疾患の診断と治療
- 7.他科入院中の糖尿病患者の血糖コントロール

チーム一丸となって頑張ります！



消化器外科①

消化器外科（肝胆膵グループ）



スタッフ 7名

大谷広美（センター長） 渡邊常太 花岡潤
上野義智 徳田和憲 武原悠花 大野拓也

消化器外科③

消化器外科上部グループ



スタッフ 4名

八木草彦（主任部長）、佐藤公一、神崎雅之、高田厚史、溜尾美咲

手術実績（2022年）肝胆膵グループ

| | 合計 | 開腹 | 腹腔鏡下 | ロボット |
|------------|-----|----|-----------|------|
| 原発性肝癌 | 60 | 18 | 42 (70%) | |
| 転移性肝癌 | 16 | 5 | 11 (69%) | |
| 肝門部胆管癌 | 2 | 2 | 0 | |
| 遠位胆管癌 | 7 | 4 | 3 | |
| 胆嚢癌 | 13 | 7 | 6 | |
| 膵癌 | 47 | 37 | 10 (21%) | |
| 膵腫瘍（膵癌を除く） | 11 | 4 | 6 (55%) | 1 |
| 胆嚢結石、胆嚢炎 | 252 | 21 | 231 (92%) | |
| 脾疾患 | 3 | 1 | 2 | |

- ▶ 皆様よりたくさんの症例をご紹介いただき、全国レベルの症例数を治療させていただいております
- ▶ また積極的に低侵襲手術を導入しております
- ▶ 大腸癌、胃癌に続き、ロボット手術を開始しました

診療実績



胃癌手術数は減少傾向（増殖抑制薬・コロナ禍の影響等）
ロボット支援下手術の割合が増加中

・日本胃癌学会 A施設認定取得（四国内6施設のみ）

消化器外科②

消化器外科下部グループ



スタッフ 8名

吉山広嗣 古手川洋志 發知将規 渡部美弥 大島将義
宇都宮健 沖川昌平 五葉海

研修医 1名

菱田佑輔

手術実績（2022年）下部消化管グループ

| | 手術件数 | 開腹 | 腹腔鏡 | ロボット |
|------|------|----|-----|---------|
| 結腸癌 | 152 | 32 | 106 | 14 |
| 直腸癌 | 84 | 4 | 28 | 52(62%) |
| その他 | 6 | 0 | 4 | 2 |
| IBD | 2 | 0 | 2 | |
| 憩室症 | 14 | 5 | 9 | |
| 大腸穿孔 | 32 | | | |
| 虫垂炎 | 68 | 2 | 66 | |

- ▶ 大腸ロボット支援手術は2022年4月の結腸癌への保険適応を受け、結腸癌に対してもロボット支援手術を導入し順調に施行できており、症例数も増加しております。
- ▶ 直腸癌においては、ロボット手術の割合が、60%を超えています。より精緻な手術により、根治性を損なわない範囲で、機能温存に努め、より低位の直腸癌に対しても永久的人工肛門が回避できるように努めています。



呼吸器内科

呼吸器内科スタッフ



中西徳彦
病院長
呼吸器指導医
アレルギー指導医



森高智典
がん治療センター長
感染制御部長
ICD



井上考司
主任部長
呼吸器指導医
がん薬物療法指導医
感染症指導医



勝田知也
呼吸器専門医
アレルギー専門医



橋さやか
呼吸器指導医
内視鏡指導医



近藤春香
呼吸器専門医
内視鏡専門医



中村純也
呼吸器専門医



能津昌平
内科専門医



水口吉晃
内科専攻医

感染症内科

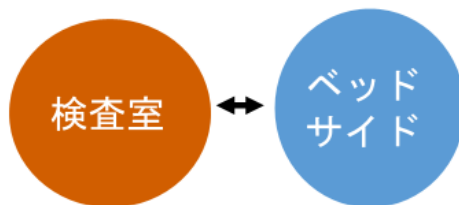
感染症医の仕事

- > Microbiology round
- > 血液培養陽性症例の併診(20~30症例/月)
- > 症例コンサルテーション(20~30症例/月)
- > レクチャー&回診(研修医、薬剤師向け)

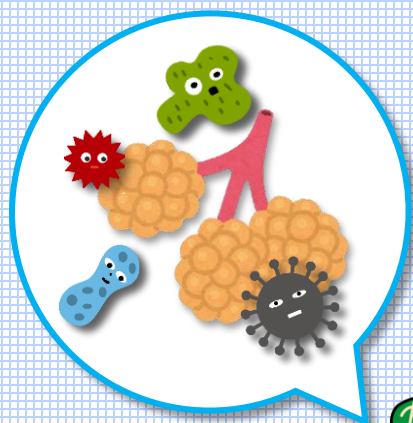
呼吸器内科診療データ抜粋

- 肺癌登録件数(2021年度)323件(#2)
- 外来化学療法実施数(2022年度)1549/年
- 間質性肺炎抗線維化薬(オフエブ/ピレスパ)使用患者数 154例
- 喘息バイオ製剤使用患者数 211例
- 気管支鏡件数(2022年度)396件

微生物情報を治療に還元する



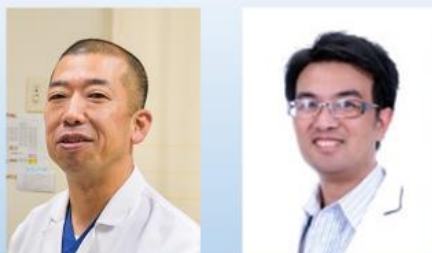
抗菌薬の最適化
抗菌薬の狭域化
内服への変更タイミングなど



カルバペネムや抗MRSA薬や抗真菌薬などのコストが減少したため
2年間で約3600万円削減できた

呼吸器外科

呼吸器外科



古川

畑地

専門医2人で診療しています

血液内科

県内屈指の症例数の 愛媛県立中央病院血液内科



愛媛県がん診療連携協議会
がん登録でみる愛媛県のがん診療 2021より

500例/5年間
肺癌手術関連死亡
ゼロ

2020年度からの造血幹細胞移植推進拠点病院の体制について

全国9ブロック 12施設を測定する

厚生労働省認定 四国唯一の
造血幹細胞移植推進拠点病院
平成元年～500例以上の同種移植
愛媛県立中央病院血液内科



⑥「リスクマネジャーのつぶやき」

医療安全管理部 森山 昭子

平易な言葉って…？

地域包括ケアになって、本当に連携って大切ななと思います。連携のための情報共有は言うまでもないですね。その輪の中にいる患者・患者家族って色々な説明について理解できているのでしょうか。

カルテを見ると、患者さんやご家族にICや病状説明などをした際の記録に、最近「平易な言葉で説明した」って書いているのをよく見かけます。でも、本当に平易な言葉なのかなあって思うことがしばしばあります。以前に比べるとカルテに説明等の内容が記載されていることが多くなってきたと思います。とても良いことですね。カルテは診療や看護の証拠ですから、自分のしたことを記載していなければ、言ったこと、行ったことにはなりません。今は変化がないことやしなかったことの原因を書きなさいとまで言われています。そんな中、平易な言葉で伝えたって誰が判断しているのでしょうか？自分自身？それとも患者さんやご家族？「今の説明は〇〇ということですね。よくわかりました」と言ってもらっているのでしょうか。何か問題が起こるとそんなことは聞いていないと言われることが多いのでちょっと心配です。説明をした後は特に、患者さんやご家族から言葉でフィードバックをもらっているといいなと思います。そしてそれを記録しておくとうまくいきますね。

⑥地域医療連携室からのお知らせ

今後各種ご案内やお知らせ（医療連携懇話会案内・地域連携室便りなど）はメール配信を推奨させていただきますと考えております。他、県立中央病院ホームページのタイムリーな更新情報も順次配信予定です。メールでの配信を希望される医療機関様につきましては、お手数ですが、下記メールアドレスへ医療機関名を記載し、送信をお願いいたします。

ご意見
ご希望

<件名> メール登録 (医療機関名) <本文>・医療機関住所、電話番号

E-Mail : c-renkei@eph.pref.ehime.jp

メールのご登録で…

医療連携懇話会の
動画配信が半年間
ご覧いただけます！



動画配信
3つの
ポイント！



①
好きな
時間に



②
繰り返し
再生！



③
3密
回避



※ 懇話会動画視聴のみご希望の方もご登録できます。ぜひお申し込みください。

お問い合わせ : 愛媛県立中央病院 地域医療連携室 <担当> 箱岡・三好
TEL : 089-947-1111(代) FAX : 089-987-6271 E-mail : c-renkei@eph.pref.ehime.jp

次回の医療連携懇話会のお知らせ

第129回医療連携懇話会

「終末期患者さんへの連携のタイミングを考える」

日時 令和 5年 8月9日(水) 19:00~20:00

座長 がん治療センター長 森高 智典

- 演者
- ①愛媛県立中央病院 消化器内科 部長 黒田 太良
 - ②愛媛県立中央病院 消化器内科外来 看護師 新 香織
 - ③愛媛県立中央病院 地域医療連携室 看護師 濱田 由香
 - ④伊予診療所 在宅担当 看護師 大上 賀代
 - ⑤訪問看護ステーションごしき 看護師 井上 典子

<リンク先> 愛媛県立中央病院ホームページ

お申込・詳細はコチラから Click!



媛さくらネット

地域医療連携ネットワークサービス 媛さくらネット

<現在閲覧できる項目>

閲覧
無料

- ・処方・注射・検体検査・病名・退院時サマリ
- ・画像(放射線、エコー、生理検査) (4月1日以降の情報)
- ・循環器動画・放射線画像診断レポート

(2021年11月1日以降の情報) (2022年3月1日以降の情報)

<リンク先> 愛媛県立中央病院ホームページ

お申込・詳細はコチラから Click!

地域連携室便り

次回8月号(No.39)は8月中旬頃刊行の
予定です。お楽しみに！

メール登録のご案内

地域医療連携室では各種ご案内やお知らせのメール配信を推奨させていただいております。

登録していただくと…

**限定公開！
医療連携懇話会動画を
ご覧いただけます！**



さらに

**医療連携懇話会のご案内、
地域連携室便りの更新が届きます！**



**ホームページのタイムリーな
更新情報等もお知らせ予定です！**



動画視聴のみ希望される医療機関関係者の方のご登録も受け付けております

【お申し込み方法】

①メールからのお申し込み

申し込み先メールアドレスへ、以下を記載し送信してください。

<件名> メール登録（医療機関名）

<本文> 医療機関住所・電話番号

※動画視聴のみの希望の場合は「動画のみ」と記載をお願いします。

申し込み先メールアドレス : c-renkei@eph.pref.ehime.jp

②この用紙でのお申し込み

以下にご記入をお願いいたします。

<医療機関名> _____

<医療機関住所> _____

<電話番号> _____

※動画視聴のみ希望の場合はチェックをお願いします。 動画のみ希望

<メールアドレス>

登録するメールアドレスのご記入、またはチェックをお願いします。

_____ @ _____

今回の医療連携懇話会に申し込んだメールアドレスを登録します。